

BOSE

**VIRTUALLY
INVISIBLE® 300**
WIRELESS SURROUND SPEAKERS



安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください

安全上の留意項目

1. 本書をよくお読みください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. すべての注意と警告に留意してください。
4. すべての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用して行ってください。
7. 通気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。
8. ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
10. 必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
11. 雷雨時や長期間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。
12. 修理が必要な際には、カスタマーサービスにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、たとえば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への侵入、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、ただちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。



この表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。



この表示は、この取扱説明書の中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを注意喚起するものです。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- ・火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。
- ・水漏れやしぶきがかかるような場所でこの製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上や近くに置かないでください。
- ・火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- ・許可なく製品を改造しないでください。
- ・インバータ電源は使用しないでください。
- ・車内や船上などで使用しないでください。
- ・この製品に付属するスピーカーワイヤーおよび機器間接続ケーブルは、壁面埋め込み向けではありません。壁面埋め込み配線を行う際は、お住まいの地域の法令等に準拠したケーブルや施工法をご確認ください。詳しくは専門の施工業者にご相談ください。
- ・万が一の事故や故障に備えるために、よく見えて手が届く位置にあるコンセントに電源プラグを接続してください。



標高2000mを超える高地での使用には適していません。

- ・空気の流れが妨げられる恐れがあるため、本製品を壁のくぼみや密閉された家具の中には置かないでください。
- ・製品ラベルは本体の底面にあります。

This device complies with part 15 of the FCC Rules and with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This device complies with FCC and Industry Canada radiation exposure limits set forth for general population. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20 cm between radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

This device is for indoor use only to reduce the potential for harmful interference to other co-channel systems.

W52 屋内専用

Receiver Category = 2

 Bose Corporation hereby declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 2014/53/EU and all other EU directive requirements. The complete declaration of conformity can be found at: www.Bose.com/compliance

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「7」は2007年または2017年です。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

SoundTouchおよび音符と無線電波を組み合わせたデザインは、米国および他の国々におけるBose Corporationの登録商標です。

Wi-FiはWi-Fi Alliance®の登録商標です。

Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639

©2017 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

目次

はじめに

エンターテインメントシステムの構築	5
内容物の確認	5
設置ガイド	6
スピーカーの設置	7

スピーカーのセットアップ

アダプターを接続する	8
ワイヤレスレシーバーのスイッチを切り替える	9
スピーカーを接続する	9
電源に接続する	10

セットアップの完了

SoundTouch® 300 soundbar とペアリングする	11
音が出ることを確認する	12
ADAPTiQ® 自動音場補正について	12
ADAPTiQ® 自動音場補正を実行する	12

動作状態の確認

ステータスインジケーターについて	14
------------------------	----

補足事項

お手入れについて	15
お問い合わせ先	15
保証	15
仕様	15
SERVICE 端子	16

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら	17
ADAPTiQ® 自動音場補正を完了できない	19

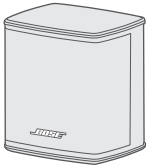
エンターテインメントシステムの構築

Virtually Invisible® 300 wireless surround speakersはホームエンターテインメントシステム用機器で、SoundTouch® 300 soundbarおよびAcoustimass® 300 bass module（別売）に対応しています。ベースモジュールとサラウンドスピーカーを接続して、より豊かで臨場感あふれるサウンドをお楽しみいただけます。

これらのシステムは、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めいただけます。

内容物の確認

箱の中身を取り出して、下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



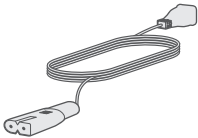
Virtually Invisible® 300 speaker (2)



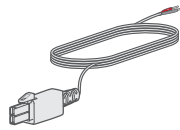
ワイヤレスレシーバー (2)



AC2アダプター (2)



電源コード(2)*



2芯スピーカークーブル(2)

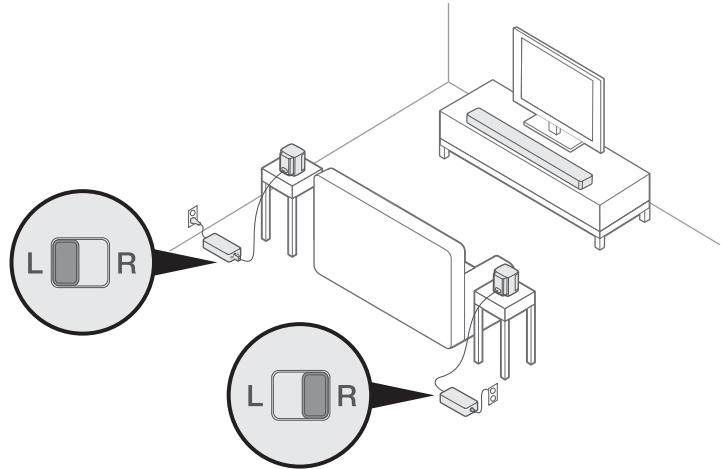
*電源コードは2つ以上付属する場合があります。お使いの国・地域に適したものをお使いください。

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが発見された場合は、使用せず、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。

設置ガイド

信号の干渉を回避するために、ほかのワイヤレス機器から30～90 cmほど離れた場所にワイヤレスレシーバーを設置してください。スピーカーとワイヤレスレシーバーは金属製キャビネットや他のAV機器、熱源などから離れた場所に設置してください。また、キャビネットの中には置かないでください。

コンポーネント	推奨される設置方法
リアスピーカー	• スピーカーは、ゴムベス面を下にして安定した水平な面に設置してください。 • 部屋の後ろ側で、耳の高さと同じか、それより高い位置に設置してください。 • 本棚のような囲まれた場所にスピーカーを置く場合は、棚の前面端に合わせて設置してください。 • リスナーに音が直接伝わるようにする場合は、リスナーの背中に向けてスピーカーを設置します。 • 壁の反射を利用する場合は、リスナーの後方または横にある壁に向けてスピーカーを設置します。
ワイヤレスレシーバー	• 一方のワイヤレスレシーバーのスイッチがR (右)になっていることを確認します。 • もう一方のワイヤレスレシーバーのスイッチがL (左)になっていることを確認します。 • テレビに向かって、部屋の右側にスピーカーとR側のワイヤレスレシーバーを設置します。 • テレビに向かって、部屋の左側にスピーカーとL側のワイヤレスレシーバーを設置します。 • 電源コンセントが近くにある場所にワイヤレスレシーバーを設置してください。



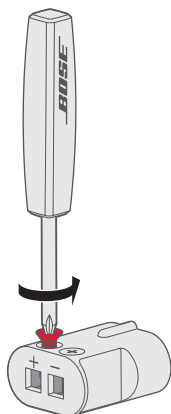
スピーカーの設置

スピーカーは、壁掛けブラケット、天井用ブラケット、フロアスタンド、またはテーブルスタンドにも設置できます。これらのアクセサリーにつきましては、お近くのボーズ製品取扱店、または弊社Webサイトでお求めいただけます。

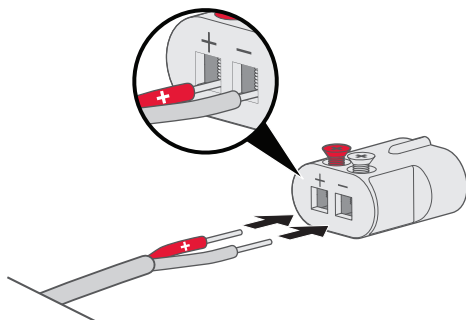
注意： スピーカーを設置する際は、ボーズ純正のアクセサリーのみを使用してください。純正以外のアクセサリーを使用すると、システムやコンポーネントを破損する恐れがあります。

アダプターを接続する

1. ドライバーを使用して、ネジを左(反時計回り)に回して端子を緩めます。



2. 2芯ケーブルの赤い方(+マークのある方)の先バラ線を赤の+端子に差し込みます。
3. 2芯ケーブルの黒い方の先バラ線をシルバーの-端子に差し込みます。



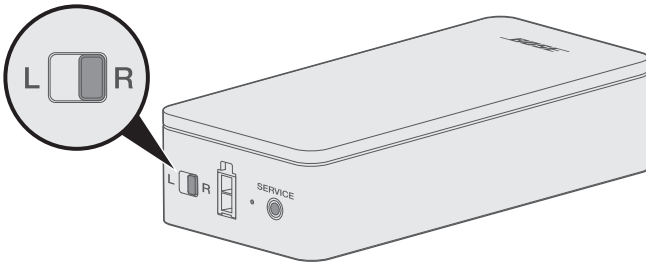
注: ケーブルの被膜部分を端子で挟まないように、剥き出しになったワイヤー部分のみを端子に差し込んでください。

4. ドライバーを使用して、ネジを右(時計回り)に回してケーブルを端子に固定します。
5. 手順1から4を繰り返して、もう1個のアダプターも取り付けます。

ワイヤレスレシーバーのスイッチを切り替える

スピーカーは、接続されたワイヤレスレシーバーを介してSoundTouch® 300 soundbarと通信します。レシーバーは工場出荷時にあらかじめL(左)側とR(右)側のチャンネルに設定されています。チャンネルの設定は、レシーバーの前面にあるスイッチを切り替えることによって変更できます。

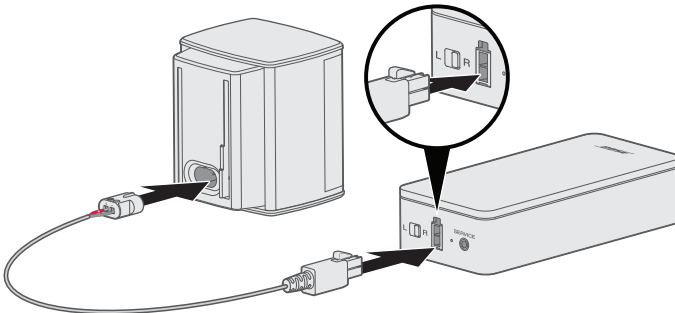
1. 一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが**R(右)**になっていることを確認します。
2. もう一方のワイヤレスレシーバーのスイッチが**L(左)**になっていることを確認します。



注: 必ず、1台のワイヤレスレシーバーを**L(左)**チャンネルに、もう1台を**R(右)**チャンネルに設定してください。

スピーカーを接続する

1. スピーカー背面の端子にアダプターを差し込みます。
2. 2芯ケーブルの反対側をワイヤレスレシーバーに差し込みます。

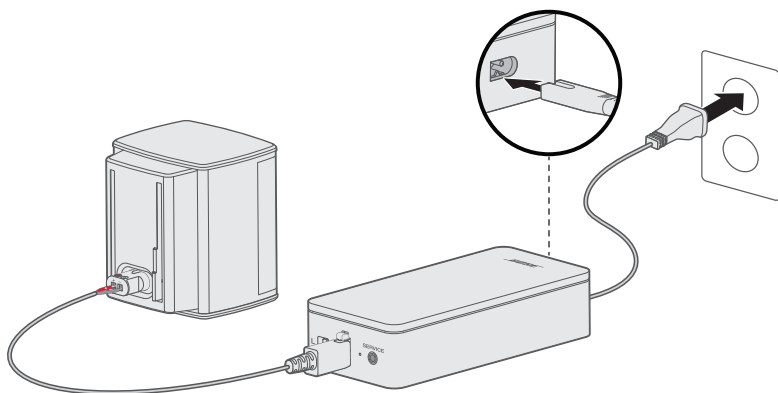


しっかり差し込むと、カチッと言う音が聞こえるか、指先に感触があります。

3. 手順1～2を繰り返して、もう一方のスピーカーも接続します。

電源に接続する

1. 電源コードの片側をワイヤレスレシーバーに接続します。
2. 電源コードの反対側を壁のコンセントに差し込みます。

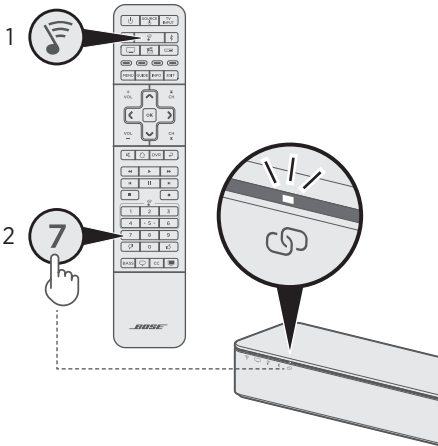


3. 手順1から2を繰り返して、もう一方のスピーカーも設置します。

SoundTouch® 300 soundbar とペアリングする

リアスピーカーと SoundTouch® 300 soundbar をワイヤレス接続するには、リモコンを使用して、サウンドバーをペアリングモードに切り替える必要があります。

1. SoundTouch® 300 のリモコンの SoundTouch® ボタン  を押します。
2. サウンドバーの接続インジケーター  が白く点滅するまで **7** ボタンを長押しします。



ペアリングされると、スピーカーからビープ音が聞こえます。ワイヤレスレシーバーの背面にあるLEDインジケーターとサウンドバーの  インジケーターが白く点灯します。

注: スピーカーとサウンドバーをペアリングできない場合は、「故障かな? と思ったら」(17ページ)をご覧ください。

音が出ることを確認する

1. テレビの電源をオンにします。
2. CATV/衛星チューナーやその他の外部機器を使用する場合：
 - 接続機器の電源をオンにします。
 - 外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します。SoundTouch® 300のリモコンで外部機器を操作できるように設定していない場合は、外部機器のリモコンをお使いください。
3. SoundTouch® 300 soundbarの電源をオンにします。
リアスピーカーから音が出ていることを確認します。

注: リアスピーカーから音が聞こえない場合は、「故障かな?と思ったら」(17ページ)をご覧ください。サウンドバーから音が聞こえない場合は、SoundTouch® 300の取扱説明書をご覧ください。

ADAPTiQ® 自動音場補正について

スピーカーとSoundTouch® 300 soundbarの接続が終わったら、システムの音響性能を最大限に引き出すため、ADAPTiQ® 自動音場補正を実行します。ADAPTiQ 自動音場補正は、システムが設置されている部屋の5箇所で測定を行い、音場を補正します。音場補正を実行するには、お部屋を10分ほど静かな状態に保つ必要があります。

ADAPTiQ 自動音場補正システムは、最適な音場にするためにADAPTiQ用ヘッドセット(サウンドバーに付属)に内蔵されたマイクでお部屋の音響特性を測定します。

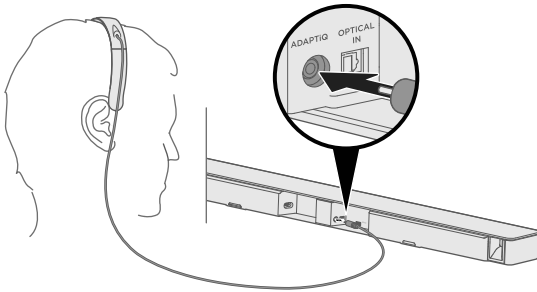
ADAPTiQシステム用ヘッドセットがお手元にはない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

注: Acoustimass® 300 bass moduleもサウンドバーと接続する場合は、接続が終わってからADAPTiQ 自動音場補正を実行してください。Acoustimass® 300のクイックスタートガイドまたは取扱説明書をご覧ください。

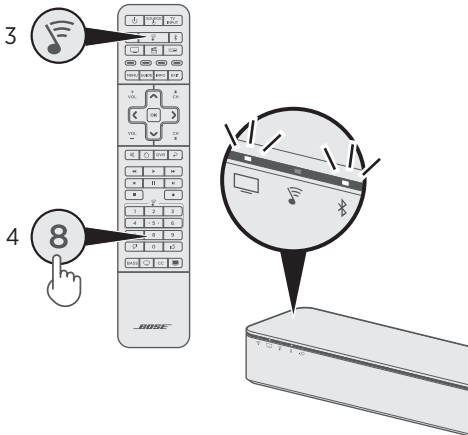
ADAPTiQ® 自動音場補正を実行する

1. ADAPTiQ®用ヘッドセットのケーブルをサウンドバーの背面にある**ADAPTiQ**端子に接続します。

2. SoundTouch® 300 に付属のADAPTiQ®用ヘッドセットを頭に装着します。



3. SoundTouch® 300のリモコンのSoundTouch® ボタン  を押します。
4. サウンドバーのTVインジケーター  とBluetooth®インジケーター  が緑に点灯するまで **8** ボタンを長押しします。



ADAPTiQによる自動音場補正が始まります。

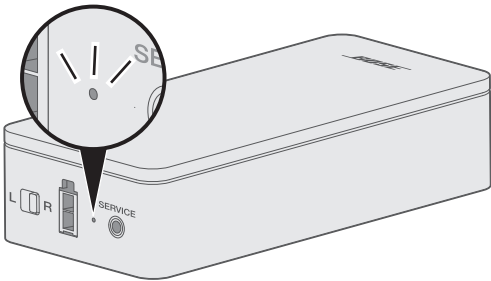
注: 音声ガイドが日本語でない場合は、リモコンのナビゲーションパッドの  ボタンと  ボタンを押して言語を変更します。言語をリセットするには、**8** ボタンを10秒間長押しします。

5. 音声ガイドに従い、ADAPTiQ自動音場補正を完了します。
エラーメッセージが聞こえてADAPTiQによる自動音場補正を完了できない場合は、19ページをご覧ください。
6. ADAPTiQ用ヘッドセットのプラグをサウンドバーから抜き、安全な場所に保管してください。

後でオプションのベースモジュールを接続した場合や、システムまたは家具を移動した場合は、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行して音質を調整してください。

ステータスインジケータについて

ワイヤレスレシーバーの前面にあるLEDインジケータには、システムの状態が表示されます。システムの状態に応じて、LEDの点灯状態が変わります。



インジケータの表示	システムの状態
オレンジの点滅	ペアリングができます
白の点灯	サウンドバーに接続されています
オレンジの点灯(暗い)	サウンドバーへの接続が解除されています
白の点滅	システムソフトウェアのアップデートをダウンロードしています
赤の点滅	ファームウェアエラー、Boseカスタマーサービスに連絡してください

お手入れについて

- リアスピーカーの外装は柔らかい布でから拭きしてください。
- リアスピーカーの近くでスプレーを使用しないでください。溶剤、化学薬品、またはアルコール、アンモニア、研磨剤などを含むクリーニング液は使用しないでください。
- 本機の開口部に液体や異物が入り込まないようにしてください。

お問い合わせ先

本製品に関するご不明点は以下までお願いいたします。

- 弊社Webサイト: global.Bose.com/Support/VI300
- Bose カスタマーサービス: (電話: 0570-080-021、平日 9:30 ~ 17:00 土・日・祝日・年末年始を除く)

保証

製品保証の詳細は 弊社Webサイトをご覧ください。また、製品の登録をお願いいたします。登録は、弊社Webサイトから簡単に行えます。製品登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

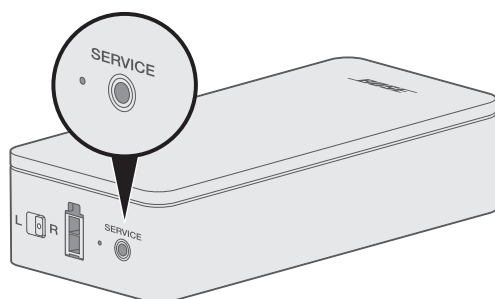
本製品の保証内容は、オーストラリアおよびニュージーランドでは適用されません。オーストラリアおよびニュージーランドでの保証の詳細については、弊社Webサイト (www.bose.com.au/warranty または www.bose.com.nz/warranty) をご覧ください。

仕様

入力電源定格: 100 ~ 240V ~ 50/60Hz 30W

SERVICE 端子

SERVICE 端子はサービス専用です。この端子にケーブルを接続しないでください。



リアスピーカーに問題が生じた場合は、下記の点をご確認ください。

- ワイヤレスレシーバーの電源コードを抜き、15秒間待ってから、通電している電源コンセントにしっかり差し込みます。
- すべてのケーブルをしっかりと接続します。
- システムのステータスインジケータの状態を確認します(14ページを参照)。
- スピーカーとワイヤレスレシーバーを干渉源になるような電気製品(無線ルーター、コードレス電話、テレビ、電子レンジなど)から離します。
- 設置ガイドに沿ってワイヤレスレシーバーを設置します(6ページを参照)。

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。それでも問題が解決できない場合は、Boseカスタマーサービスまでお問い合わせください。

故障かな？と思ったら

次の表には、一般的な問題の症状と、考えられる対処方法が記載されています。

症状	対処方法
電源が入らない	• ステータスインジケータを見て、システムの電源が入っていることを確認します(14ページを参照)。 • ワイヤレスレシーバーとサウンドバーの電源コードを抜き、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。ペアリングの手順を繰り返します(11ページを参照)。 • SoundTouch® 300のリモコンを使用してサウンドバーの電源をオンにします。
ワイヤレスレシーバーとサウンドバーをペアリングできない	• ワイヤレスレシーバーとサウンドバーの電源コードを抜き、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。ペアリングの手順を繰り返します(11ページを参照)。 • サウンドバーをリセットします(SoundTouch® 300の取扱説明書を参照)。

故障かな？と思ったら

症状	対処方法
音が聞こえない	・ システムのミュートを解除します。 ・ 音量を上げます。 ・ SoundTouch® 300 soundbarから音が出ているかどうか確認します (SoundTouch® 300の取扱説明書を参照)。 ・ 外部機器をテレビに接続している場合は、適切なテレビ入力を選択します (SoundTouch® 300の取扱説明書を参照)。 ・ ワイヤレスレシーバーとサウンドバーの電源コードを抜き、通電している電源コンセントにしっかりと差し込みます。ペアリングの手順を繰り返します (11ページを参照)。 ・ 赤(+)と黒(-)のスピーカーケーブルがアダプターにしっかりと接続されていることを確認します。アダプターをしっかりとスピーカーに差し込みます。 ・ 一方のワイヤレスレシーバーがL (左)チャンネルに設定され、もう一方がR (右)チャンネルに設定されていることを確認します。両方のレシーバーが同じチャンネルに設定されている場合は、次の手順に従います。 1. 電源コンセントから両方のワイヤレスレシーバーのプラグを抜きます。 2. 一方のワイヤレスレシーバーをL (左)チャンネルに設定し、もう一方をR (右)チャンネルに設定します。 3. 両方のワイヤレスレシーバーを電源コンセントに差し込みます。
音が途切れる、音質が良くない、音が歪む	・ 別の接続機器で試してみます。 ・ まだADAPTiQ®自動音場補正を完了していない場合は、実行します (12ページを参照)。 ・ 赤(+)と黒(-)のスピーカーケーブルがアダプターにしっかりと接続されていることを確認します。アダプターをしっかりとスピーカーに差し込みます。 ・ スピーカーをキャビネット内や棚に置く場合は、最適なオーディオ性能を得るために、できるだけ棚の前面に近づけてください。 ・ 以下の手順でシステムソフトウェアを更新します。 1. SoundTouch® 300のリモコンのSoundTouch® ボタン  を押します。 2. サウンドバーのWi-Fiインジケーター 、TVインジケーター 、SoundTouch®インジケーター 、Bluetoothインジケーター  が白に点滅するまで、字幕表示ボタン CC を長押しします。 注: 更新には10分以上かかる場合があります。

サラウンドサウンドが聞こえない	- テレビがサラウンドサウンド出力に対応していることを確認します(テレビの取扱説明書をご覧ください)。 - 赤(+)と黒(-)のスピーカーケーブルがアダプターにしっかりと接続されていることを確認します。アダプターをしっかりとスピーカーに差し込みます。 - 一方のワイヤレスレシーバーがL(左)チャンネルに設定され、もう一方がR(右)チャンネルに設定されていることを確認します。両方のレシーバーが同じチャンネルに設定されている場合は、次の手順に従います。 - 電源コンセントから両方のワイヤレスレシーバーのプラグを抜きます。 - 一方のワイヤレスレシーバーをL(左)チャンネルに設定し、もう一方をR(右)チャンネルに設定します。 - 両方のワイヤレスレシーバーを電源コンセントに差し込みます。
-----------------	--

ADAPTiQ® 自動音場補正を完了できない

音声ガイドから以下のエラーメッセージが聞こえる場合があります。

エラーメッセージ	トラブル	対処方法
1	ADAPTiQ®用ヘッドセットのマイクで音声を検出できません。	- スピーカーケーブルをすべてしっかりと接続します。 - ADAPTiQ用ヘッドセットの上部にあるマイクの開口部が塞がれていないことを確認します。 - ADAPTiQ用ヘッドセットが破損している可能性があります。Boseカスタマーサービスに連絡してヘッドセットを交換してください。
2	室内がうるさすぎます。	室内が静かになったら、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行します。
3	ADAPTiQ用ヘッドセットがスピーカーに近すぎます。	ADAPTiQ用ヘッドセットをスピーカーから離します。
4	測定するリスニングポジションが近すぎます。	既に測定したリスニングポジションから30～60 cm離れた場所まで移動します。
5	ADAPTiQ用ヘッドセットが動いたために測定できません。	測定中は、頭を動かさないようにしてください。

問題を解決した後で、ADAPTiQ自動音場補正を再度実行する必要があります(12ページを参照)。このほかのエラーメッセージが聞こえた場合は、Boseカスタマーサービスにご連絡ください。



780125-0010

BOSE

©2017 Bose Corporation, The Mountain,
Framingham, MA 01701-9168 USA
AM780125 Rev. 03